

環境経営レポート



当社所在地に近い平山から見た静岡市街地の景色

運用期間：2023年9月1日～2024年8月31日

作成日：2024年9月10日

第8版

有限会社 鈴伸土木

目 次

1	組織の概要	P1
2	実施体制	P2
3	環境経営方針	P3
4	環境経営目標	P4
5	環境経営計画	P5
6	環境経営目標の実績	P6
7	環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容	P7
8	当社の取組	P8～P10
9	環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P11
10	代表者による全体評価と見直し・指示	P12

1 組織の概要

1. 事業者名: 有限会社 鈴木伸土木 2. 代表者氏名: 鈴木 康伸
 当社ホームページ <https://www.suzushin-yasu.jp/>
3. 所在地: 本社: 静岡県静岡市葵区北沼上68-12
 資材置場・駐車場: 静岡県静岡市葵区南沼上1514-1
 資機材置場: 静岡県静岡市葵区上土新田592-1
4. 環境管理責任者: 鈴木 登美子
5. 連絡先: TEL (054)-264-2558 FAX (054)-261-9721
 E-mail: suzushin@yr.tnc.ne.jp
6. 事業活動: 土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業及び産業廃棄物収集運搬業
7. 事業許可証

- 建設業 許可番号: 静岡県知事許可(般-1) 28759号
 許可年月日 R1.11.5 有効期限 R6.11.4
 ・建設業の種類 土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業
- 産業廃棄物収集・運搬 許可番号: 静岡県第02201076396号
 許可年月日 R3.5.7 有効期限 R8.5.6
 ・事業の区分: 収集運搬(積替え及び保管行為を除く)

・産業廃棄物の種類

廃プラスチック類(石綿含有廃棄物を除く)、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有廃棄物を除く)、がれき類(石綿含有廃棄物を除く)、紙くず、木くず、繊維くず 以上7品目

・産業廃棄物管理責任者: 鈴木 登美子

登録運搬車両

	車両の名称	積載量	台数
1	ダンプ	2.00t	1
2	ダンプ	3.00t	4
3	ダンプ	3.75t	1
4	ダンプ	8.00t	1
5	ダンプ	10.00t	3

収集運搬実績(R5.9.1～R6.8.31)

	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
収集運搬量	t	2884.3	1605.1	184.0	385.0	688.6
売上高	百万円	3.1	13.6	11.0	19.7	34.7

8. 事業の規模
 - 資本金 ¥3,000,000
 - 創業年月 1989/1/1
 - 事業年度 9月 1日～翌年 8月 31日
 - 事業規模

活動規模	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
全社売上高	百万円	197	218	238	253	214.9
従業員	人	17	18	18	16	16
事務所床面積	m ²	76	76	76	76	76
資材置場・駐車場敷地面積	m ²	485	485	485	485	485
資機材置場敷地面積	m ²	1000	1000	1000	1000	1000

産業廃棄物排出量(期間: R5.9.1～R6.8.31)

	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
排出量	t	1490.2	2244.7	1007.1	575.0	512.9

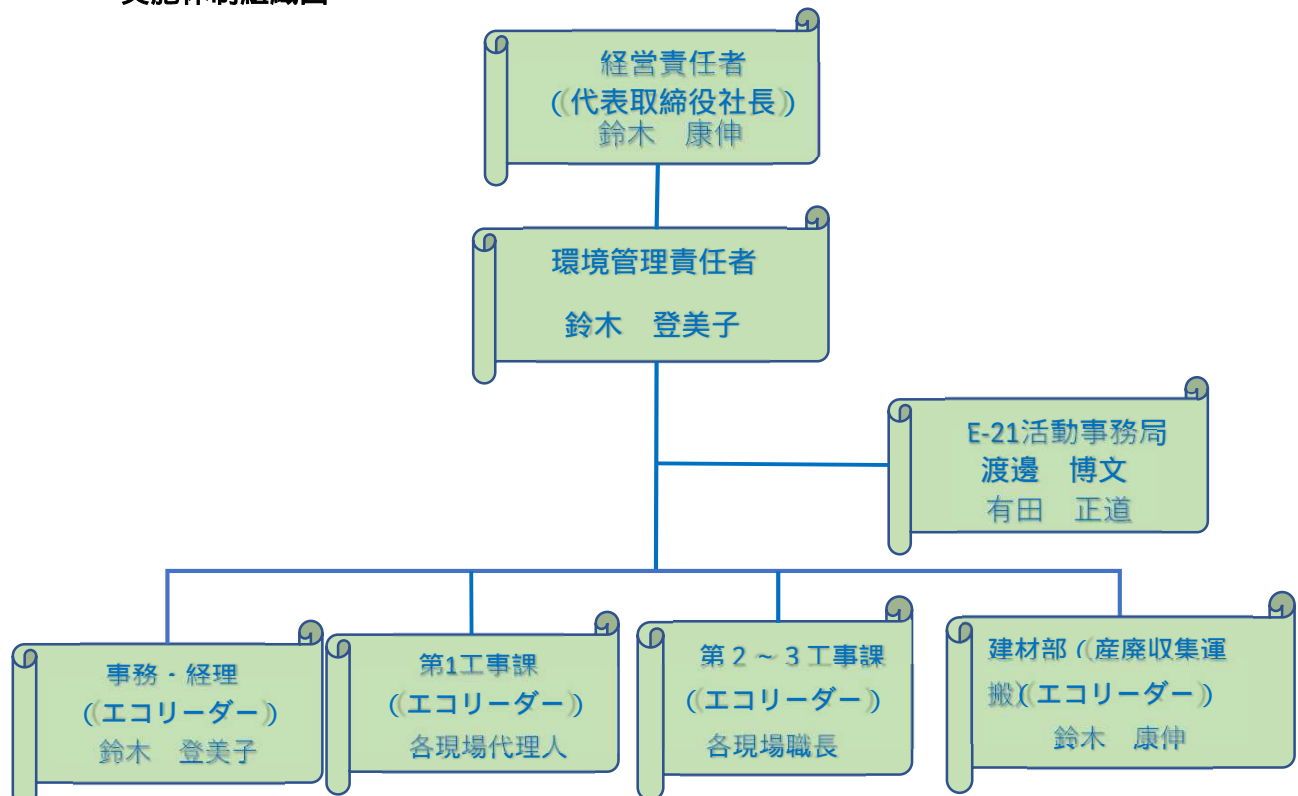
9. 対象範囲(認証・登録範囲)
 対象事業所: 本社、資材置場・駐車場、資機材置場
 対象活動: 建設業(土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業)、産業廃棄物収集運搬業

2 実施体制

制定日：2018/9/1

改定日：2024/9/1

実施体制組織図



< 環境管理組織における機能 >

経営責任者

環境経営全般に対する責任と権限
 環境経営方針の作成と社員への周知
 環境管理責任者の任命
 環境経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
 全体の評価と見直し
 効率的な実施体制の構築と全従業員への周知
 エコアクション21を運用し、維持するための環境経営資源(人、もの、資金、情報など)を用意する。

環境管理責任者

環境経営活動の推進
 環境経営目標及び環境経営計画の作成
 環境経営推進会議の実施
 経営者への進捗報告

E-21活動事務局

各部門のデータのまとめ
 環境経営計画の実績管理
 環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
 環境管理責任者補佐
 環境関連法規制等の最新版管理
 文書類の作成及び管理

各部門管理者及び社員

環境経営計画の実施
 月別部門データの集計
 問題点の把握と是正の実施
 環境経営推進会議の出席
 従業員教育

3 環境経営方針

《企業理念》

当社は、建設業の事業活動から「低炭素化社会」・「循環型社会」・「自然共生社会」を統合した「持続可能な社会」を実現するため、環境と経営を両立させた活動に取り組み、地域社会に貢献します。

《環境経営方針》

環境経営に取り組み環境負荷の継続的な改善を目指す、環境経営方針を下記に定めます。

- ・ 電力、燃料の効率的な使用に取り組み、二酸化炭素排出量削減を推進します。
- ・ 廃棄物は、適正な処理のもと、排出量の削減に取り組みます。
- ・ 環境に配慮した再生資源利用を3R(リデュース、リユース、リサイクル)活動に取り組み推進します。
- ・ 事業活動で利用する資源(水・紙等)の消費量削減に取り組みます。
- ・ 持続可能社会の構築に貢献する地域社会への社会貢献活動を推進します。
- ・ 環境関連法規などを適切に把握し、これを遵守をします。
- ・ 従業員へ環境活動促進の周知を行い本活動の充実をはかります。
- ・ 環境経営システムの構築・運用・維持は、継続的改善を行い推進します。
- ・ 環境経営コミュニケーションは、環境経営レポートを作成して公表します。
- ・ 環境に配慮した事業の取組みを推進します。

制定年月日 2016年12月1日
改定年月日 2021年9月1日

有限会社鈴伸土木

代表取締役 鈴木 康伸

4 環境経営目標

制定日：2016/12/1

改定日：2022/9/1

対象期間(2023年9月～2024年8月)の環境経営目標

項目	単位	基準期間		対象期間	
		2021年9月～2022年8月		2023年9月～2024年8月	
		基準値1億円当		削減率等	目標値1億円当
全体	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	45,425	-2%	44,517
事務所 内訳	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	5,202	-2%	5,098
	電力	kWh	1,739	-2%	1,704
	ガソリン	L	1,889	-2%	1,851
建設現場 内訳	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	40,223	-2%	39,419
	電力	kWh	3,142	-2%	3,080
	ガソリン	L	833	-2%	817
	軽油(現場)	L	4,126	-2%	4,044
	軽油(収集運搬)	L	10,140	-2%	9,938
廃棄物	一般廃棄物排出量	t	0.113	-2%	0.111
	産業廃棄物排出量	t	423		
	産業廃棄物収集運搬量	t	77		
水道使用量の削減		m ³	34	-2%	33.32
環境に配慮した自社の取り組み	社会貢献(道路清掃等の実施)	件	9	基準年以上	基準値以上
	環境経営教育の実施	回	10	基準年以上	基準値以上

短期・中期の環境経営目標

項目		単位	基準年2021.9～2022.8		2022.9～2023.8	2023.9～2024.8	2024.9～2025.8
			実績	実績1億円当	目標	目標	目標
全体	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	108,112	45,425	-1%	-2%	-3%
事務所	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	12,381	5,202	-1%	-2%	-3%
	電力	kWh	4,138	1,739	-1%	-2%	-3%
	ガソリン	L	4,495	1,889	-1%	-2%	-3%
建設現場	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	95,731	40,223	-1%	-2%	-3%
	電力	kWh	7,479	3,142	-1%	-2%	-3%
	ガソリン	L	1,983	833	-1%	-2%	-3%
	軽油(現場)	L	9,820	4,126	-1%	-2%	-3%
	軽油(収集運搬)	L	24,134	10,140	-1%	-2%	-3%
内訳							
廃棄物	一般廃棄物排出量	t	0.27	0.11	-1%	-2%	-3%
	産業廃棄物排出量	t	1007	423			
	産業廃棄物収集運搬量	t	184	77			
水道使用量の削減		m ³	85	36	-1%	-2%	-3%
環境に配慮した自社の取り組み	社会貢献の実施	件	9	-	基準年以上	基準年以上	基準年以上
	環境経営教育の実施	回	10	-	基準年以上	基準年以上	基準年以上

1. 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、中部電力(平成23年度)の「0.472kg-CO₂/kWh」を使用します。

2. 短期・中期環境目標について、二酸化炭素排出量及び廃棄物排出量は、工事高1億円当たりの数量とします。

基準年(2021.9～2022.8)工事高 238 百万円 (2.38億円)

3. 産業廃棄物排出量・収集運搬量は、事業活動の状況を確認するために記載しています。

5 環境経営計画

計画	
実施	

制定日: 2017/4/25
 改訂日: 2023/9/1

対象期間(2023年9月～2024年8月)

	活動項目	主な目的	実施部門	責任者	年間スケジュール											
					9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
1	使用していない部屋の消灯・空調停止	二酸化炭素の削減	事務所	鈴木												
2	室内の清掃(ホコリによる消費電量増加防止)	"	"	"												
3	コピー用紙の使用量削減	廃棄物のリサイクル・削減	"	"												
4	書類のPDF化による保存	廃棄物の削減	"	"												
5	空調機と扇風機の併用	省費資源の削減	"	"												
6	節水(蛇口の閉め忘れ防止)	"	共通	"												
7	同じ目的地の場合の同乗走行の実施	二酸化炭素の削減	共通	鈴木												
8	一般廃棄物の分別	廃棄物の適正処理	事務所	鈴木												
9	建設副産物の処理契約	"	共通	現場代理人	適宜											
10	建設副産物の適正処理(過積載防止)	"	現場	現場職長												
11	建設機械始業前点検・車両清掃の実施	二酸化炭素の削減	"	"												
12	重機アイドリングストップ・空ぶかしの禁止	"	"	"												
13	環境対策資材の購入(保安施設等)	リサイクル製品の利用	"	現場代理人	適宜											
14	使用資材の歩留まり向上への工夫	As合材、生コン、RC等の歩留り	"	"												
15	公衆災害防止対策の実施	社会環境への影響防止	"	"												
16	環境経営教育の実施(社内会議・安全教育)	環境活動の啓発	共通	現場代理人												
17	社会貢献(道路清掃等)実施	地域貢献環境活動	現場	"												
18	熱中症防止対策	環境活動継続	共通	"												
19	エコドライブ(燃費効率の向上)	二酸化炭素の削減	"	鈴木												
20	環境経営活動とSDGsの紐づけ	SDGsへの取組	"	有田												

6 環境経営目標の実績

運用期間（2023年9月～2024年8月）の環境経営目標の実績

評価日：2024/9/10

項 目	単 位	基準期間		運用期間					
		2021年9月～2022年8月		2023年9月～2024年8月					
		基準値1億円当	削減率等	目標1億円当	実績値	実績1億円当	削減比率	評価	
全体	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	45,425	-2.0%	44,517	156,223	72,696	-63.3%	×
事務所	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	5,202	-2.0%	5,098	13,590	6,324	-24.0%	×
内訳	電力	kWh	1,739	-2.0%	1,704	7,705	3,585	-110.4%	×
	ガソリン	L	1,889	-2.0%	1,851	4,290	1,996	-7.9%	
建設現場	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	40,223	-2.0%	39,419	142,633	66,372	-68.4%	×
内訳	電力	kWh	3,142	-2.0%	3,080	2,386	1,110	63.9%	○
	ガソリン	L	833	-2.0%	817	422	196	76.0%	○
	軽油(現場)	L	4,126	-2.0%	4,044	2,526	1,175	70.9%	○
	軽油(運搬)	L	10,140	-2.0%	9,938	51,943	24,171	-143.2%	×
廃棄物	一般廃棄物排出量	t	0.113	-2.0%	0.111	0.29	0.135	-21.4%	×
	産業廃棄物排出量	t	423.11	-2.0%	414.65	512.90	238.67	42.4%	
	産業廃棄物収集運搬量	t	77.31	-2.0%	75.76	688.60	320.43	-322.9%	
水道使用量の削減		m3	34	-2.0%	33	113	53	-57.8%	×
環境に配慮した自社の取組	社会貢献の実施	件	9		基準値以上	10	—	—	○
	環境経営教育の実施	回	10		基準値以上	10	—	—	○

< 備考 > ・削減比率は、目標値に対する削減量の割合です。

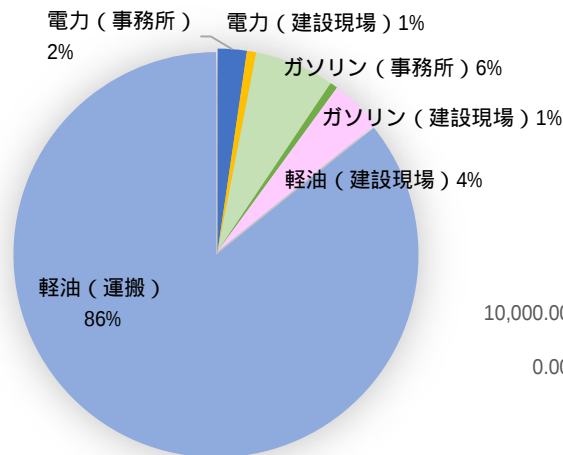
運用期間売上高 2,149 億円

・産業廃棄物排出量及び収集運搬量実績は、評価対象外ですが軽油使用量との相関関係を考察する為に記載しています。

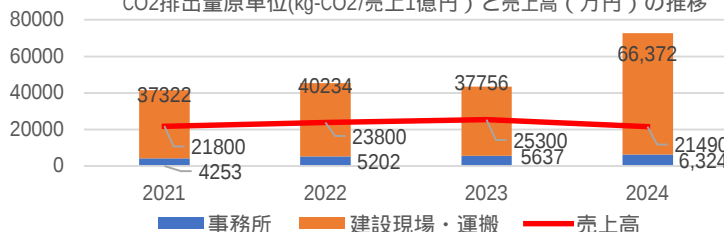
産業廃棄物排出量リサイクル率	目標(%)	100.0%	実績(%)	99.3%	リサイクル量(t)	509.40
建材部運搬実績	運搬距離(km)	166,000	燃費(km/L)	3.22		

【実績値グラフ】

二酸化炭素排出量構成比(kg-CO₂)



CO2排出量原単位(kg-CO₂/売上1億円)と売上高(万円)の推移



月別燃料使用量(L)



月別電力使用量(KWh)



【考察】

総括	本年度は、売上高が伸びず事務所で電力・ガソリンの固定費化されている費用が猛暑とかさなり結果として反映されています。また本年度現在も続く夏場の猛暑は体調管理の観点から適切に対応しながら環境経営活動を継続していき、次年度の活動結果を翌年の基準年に定めるよう環境経営活動を進めます。
電力	事務所電力が増えています。年間使用量は前年度(7,296kwh)に対して7,705kwhと増加しました。月別の使用量から前年度は6月より上昇し8月では使用量が減少していましたが、本年度は5月より上昇を始め8月になっても上昇傾向にあることがデータより確認されました。この結果からも猛暑といわれていることがわかります。次年度の環境経営目標は現在の削減目標としますが、気象状況に応じ適時対応して体調管理に留意して節電に努めます。
ガソリン	事務所使用量は実績当りの数量で未達になっていますが、前年度(4663L)から削減されいます。また現場ガソリン使用量は削減され良好と判断します。次年度も取組を継続していきます。
軽油	建材部の活動が活発になった結果です。次年度は環境経営活動の取組を推進し2025/9月以降の基準年データ見直しに向けた1年にする。
廃棄物排出量	一般廃棄物が未達となりました。次年度は啓発活動を実施して削減できる活動します。
水道使用量の削減	水道使用量も一般廃棄物同様の結果となりました。次年度は啓発活動を実施して削減できる活動します。
環境に配慮した自社の取組	安全教育訓練、地域貢献活動が実施されています。次年度も継続実施していきます。

7 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

対象期間(2023年9月～2024年8月)

評価日: 2024/9/1

	活動項目	主な目的	実施部門	評価	活動内容	今後(次年度)の取組み
1	使用していない部屋の消灯・空調停止	二酸化炭素の削減	事務所	×	操作部に表示	継続実施改善
2	室内の清掃(ホコリによる消費電量増加防止)	"	"	○	毎週1回実施	継続実施
3	コピー用紙の使用量削減	廃棄物のリサイクル・削減	"	○	実施されている	継続実施
4	書類のPDF化による保存	廃棄物の削減	"	○	実施されている	継続実施
5	空調機と扇風機の併用	省費資源の削減	"		実施されている	継続実施
6	節水(蛇口の閉め忘れ防止)	"	共通		実施されている	継続実施改善
7	同じ目的地の場合の同乗走行の実施	二酸化炭素の削減	共通		実施されている	継続実施
8	一般廃棄物の分別	廃棄物の適正処理	事務所	○	実施されている	継続実施
9	建設副産物の処理契約	"	共通	○	選定時に確認	継続実施
10	建設副産物の適正処理(過積載防止)	"	現場	○	実施されている	継続実施
11	建設機械始業前点検・車両清掃の実施	二酸化炭素の削減	"	○	実施されている	継続実施
12	重機アイドリングストップ・空ぶかしの禁止	"	"		実施されている	継続実施
13	環境対策資材の購入(保安施設等)	リサイクル製品の利用	"	○	実施されている	継続実施
14	使用資材の歩留まり向上への工夫	AS合材、生コン、RC等の歩留り	"		実施されている	継続実施
15	公衆災害防止対策の実施	社会環境への影響防止	"	○	実施されている	継続実施
16	環境経営教育の実施(社内会議・安全教育)	環境活動の啓発	共通	○	実施されている	継続実施
17	社会貢献(道路清掃等)実施	地域貢献環境活動	現場	○	実施されている	継続実施
18	熱中症防止対策	環境活動継続	共通	○	実施されている	継続実施
19	エコドライブ(燃費効率の向上)	二酸化炭素の削減	"		実施されている	継続実施
20	環境経営活動とSDGsの紐づけ	SDGsへの取組	"	○	実施されている	継続実施

評価 ○:適合 5.00 :指導事項(適合) 2.50 ×:要改善事項(啓発推進、内容見直し) 0

評価点(適合(○)を100/活動項目数の配点として、○の配点の :50%、×:0%で算定)

目標評価点 80.0 点 本年度評価点 80.0 点 総合評価 ○

考 察

環境目標実績から事務所電力・水道使用量及び現場軽油使用量の削減について指導事項及び要改善事項になりました。次年度は環境活動計画は継続実施として啓発活動を充実させて取り組んでいきます。

8 当社取組とSDGs



現在取組でいる活動がSDGsのどの項目に該当するのか確認してみました。
事務所：感染防止対策

SDGs紐づけ



事務所・現場：労働災害防止会議・KYミーティング

SDGs紐づけ



現場：労働環境の整備（営繕設備）

SDGs紐づけ



現場：地域貢献清掃活動現場周辺公園清掃

SDGs紐づけ



8 当社取組とSDGs



現場：下水道工事開口部転落防止

SDGs紐づけ



現場：建設産業廃棄物処理過積載防止

SDGs紐づけ



現場：建設産業廃棄物契約処分地の確認



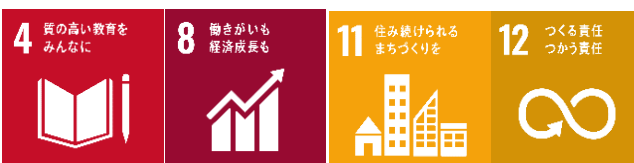
現場：社内安全パトロール

SDGs紐づけ



現場：土木構造物施工管理

SDGs紐づけ



8 当社取組とSDGs



事務所：節電(節水)の啓発活動

SDGs紐づけ

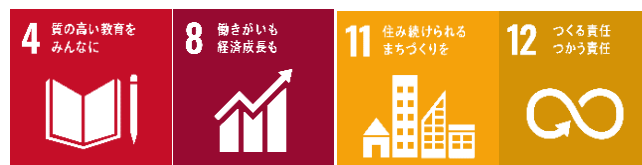


現場：近隣中学校生の職場体験

SDGs紐づけ



現場：施工管理向上(3次元測量機による現況測量)



資材置き場：整理整頓

SDGs紐づけ



9 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

評価日: 2024/9/9

評価者: 有田 正道

環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

環境法規制等の 名称/略称		規制内容	手続き・順守事項	評価
環境基本法		自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
地球温暖化対策推進法		自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
循環型社会形成推進基本法		廃棄物の3R及び適正処理の推進	廃棄物の分別、行政への協力(廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進)	○
廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	排出事業者	産業廃棄物の委託処理	1. 委託先の許可確認 2. 委託契約の締結 3. 契約書の5年間保存	○
			マニフェストの交付・保管 電子マニフェスト登録	○
		廃棄物の処理(現場保管)	野外焼却の禁止	○
			積み上げ高さの厳守、雨、風、悪臭発生に対する養生、保管場所の掲示板設置	○
		多量排出事業者処理計画及び報告	前年度の産業廃棄物の発生量が1000トン以上	-
	受託収集運搬	産業廃棄物の受託収集運搬	収集運搬業許可の許可期限の確認	○
			収集運搬車両への表示	○
			産業廃棄物排出事業者と収集運搬契約	○
			排出者へのマニフェストの返却(報告)	○
			処理基準の遵守(過積載・飛散防止等)	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例		事業活動に伴う産業廃棄物処理の排出事業者責務	1. 産業廃棄物管理責任者の設置 2. 委託先の実地確認(年1回以上) 3. 実地確認記録作成し5年間保存	○
静岡県盛土等の規制に関する条例		建設発生土処分に関する適切な処理	受入業者へ発生する土砂について土砂等発生元証明書(地歴証明)を提出する。	○
建設リサイクル法	指定副産物	1. 再資源利用計画書・実施書の作成 2. 再資源利用促進計画書・実施書の作成	○	
	新築工事及び解体改修工事	・発注者への書面による計画等説明 ・再資源化等の促進、再生資源の使用	○	
家電リサイクル法		指定再資源化製品のリサイクルへの協力(適正廃棄)	パソコン、小型二次電池等の廃棄時	-
自動車リサイクル法		使用済自動車の再資源化	使用済自動車の引渡(リサイクル料金の支払(廃車時))	○
オフロード法		建設機械等の排出ガス規制対応型	適合証明	○
騒音・振動 規制法		杭打ち機、びょう打機、削岩機、空気圧縮機等を使用する作業	特定建設作業実施届	-
浄化槽法		浄化槽(合併処理浄化槽)	a)定期保守点検の実施(3～4回/年) b)定期清掃の実施(1回/年) c)指定検査機関による定期水質検査(1回/年)	○
建設業法	建設工事の請負契約の適正化等を図り、建設工事の適正な施工を確保		建設業許可証、主任技術者配置	○
			工事請負契約締結(発注者・下請負業者)	○
			施工体制及び体系の確立	○
道路交通法、道路法		過積載における違反者への勧告、命令等	積載基準の遵守	○
フロン排出抑制法		冷媒としてフロン類が充填されている機器	簡易点検記録作成・保管	○

○違反訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

10 代表者による全体評価と見直し・指示

事務局担当：有田 正道

1・見直し 関連情報	項 目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)	
	1	エコアクション21文書	☒	要求事項について記録・文書を作成しています。
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☒	目標の未達がありました。次年度は翌年の基準年見直しの目標設定年としても取り組んでいきます。
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	☒	当社取組は実施されていますが、電力・水道・軽油について啓発活動の充実を行っていきます。
	4	環境経営関連法規要求一覧及び遵守状況	☒	関連法規は遵守され、違反、訴訟等はありません。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒	周辺住民からの苦情・要望はありませんでした。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒	適切に実施され是正・予防措置はありませんでした。
	7	従業員への教育実施状況	☒	熱中症防止対策
	8	その他()	☐	

2・代表者による 全体評価・見直し 指示	本年度の環境経営目標の結果は、必ずしも良いとは言えませんが建材部活動の活発化もありました。次年度は現在の基準年の最終年であり環境経営の取組計画を継続して新しい基準年に向けた環境経営目標設定を確実にを行い当社環境経営方針を継続的改善していきます。 2024年9月10日 有限会社 鈴伸土木 代表取締役 鈴木 康伸			
	見直し項目		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	有・ ☒ 無	
	2	環境経営目標	☒ 有 無	基準年見直し(2025年9月から適用)
	3	環境経営計画	☒ 有 無	電力使用量・水使用量・軽油使用量の適切な使用及び削減について取組を重点に活動してください。
	4	環境経営に関する組織	有・ ☒ 無	
	5	その他のシステム要素	有・ ☒ 無	
	6	その他(熱中症防止対策)	☒ 有 無	熱中症防止対策の実施